

◆ 自分を信じて… ◆

個別大学への出願を終えた3年生の教室、黙々と自分と対峙する生徒を見かける。こちらからは声もかけにくいほどの集中。

かつて担任をしていた際の一つのシーンが脳裏をよぎった。今のように空調が整っていない頃の夏休みの一時。それがroutineであったのだろう、医学部志望の彼女は毎日HR教室へやってきて、窓を開け放つ。ベランダ側も廊下側も全開である。入ってくるのは熱風…。そういう日々を経て、見事彼女は医学部合格を果たした。

その一方、他の教室では間隔を空けながら数人の生徒が問題集に取り組んでいる。

今年度の本校の合格体験記を読み直す。

こんな言葉がある。

「…受験期を貴重な機会として捉えたり、勉強することの意義や楽しさを見出してみてください。そうすれば、辛い気持ちも多少は和らぐかもしれません。…」

よかったね。「勉強することの意義や楽しさ」が見つかるなんて素晴らしいじゃないか！

またこんな言葉もある。

「…受験は団体戦ということは繰り返し強調したいと思います。…」

そういえば、今日も職員室に数名の3年生が質問にやってきた。これが団体戦か…。

ある教室の前のホワイトボードにあるK先生の書き込みを見つけた。「自分を信じて顔晴ろう!!」とウイットのある表現で生徒を励ます。右には「絶対合格!!」の文字。

私ももう一度繰り返そう。

There is no royal road to learning.

ゴールへの道は一直線ではない。曲がりくねった道もあれば、枝分かれした道もある。でももう一息だ。ここまでやってきた自分を信じよう。

「春よ来い 早く来い」 春はすぐそこまで来ている…

